

## 大会宣言文

全国連合小学校長会は、結成以来七十五年にわたり、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

第七十二回大会からは、大会主題を「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、各大会の特色を生かしながら、その実現に向け、組織をあげて実践的に研究を進めてきた。

近年、情報技術の急激な進展を背景とした人工知能（AI）の飛躍的な進化やグローバル化の進展などに伴い、社会の変化は加速度を増し、未来を予測することは困難である。また、少子高齢化の進展、人間関係の希薄化、家庭の教育力の低下、子どもの貧困問題などに加え、世界的な平和や地球環境問題なども加わり、社会状況が子どもの成長に影響を与える問題は山積している。

このような中、将来この国や豊かな社会の担い手となる子どもたちには、一人一人が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、よりよい持続可能な社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが求められている。

そのため、小学校教育においては、全ての子どもたちの可能性を引き出すため、今まで以上に学習者主体の教育活動に転換し、新たな学びを定着させるとともに、教員の質の向上、デジタル化への対応を総合的に進める必要がある。そして、誰一人置き去りにしない教育を実現するため、個別最適な学びと、協働的な学びを実現し、「生きる力」を確実に育むことが学校教育の責務である。

また、今日的課題として、東日本大震災をはじめとする被災各地における教訓と取組を共有し、風評被害や風化防止対策を講じ、各地域の状況を踏まえながら子どもたちが健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮することが求められている。

今大会は、東京の特性を「多様性」、時代が求めるものを「創造性」と捉え、研究副主題を「多様な人々と協働しながら新しい価値を生み出し、持続可能な社会と幸福な人生の創り手となる力を育む学校経営の推進」として、その実現を目指している。

私たち校長は、人々の価値観や社会のあり様の変化を展望し、教育の基調を転換させる教育改革を進める今、小学校教育の更なる発展に全力を注ぎ、国民の期待に応えようとするものである。

ここに、第七十五回全国連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明しその実現を期する。

### 記

- 自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進
- 多様な人々と協働しながら新しい価値を生み出し、持続可能な社会と幸福な人生の創り手となる力を育む学校経営の推進
- 「生きる力」の育成を目指した創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 道徳教育を中核とし、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念の育成を重視した心の教育の一層の充実
- 主体的に判断・行動し、命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域等との連携・協働による教育活動の充実
- 安全で安心できる教育環境づくりと新たな学びの在り方の実現
- 校長自らの研鑽と、教職員の資質・能力の向上を図る現職教育の充実
- 教育の質を向上させるための「学校における働き方改革」の推進

右、宣言する。

令和五年十月十九日

第七十五回全国連合小学校長会研究協議会東京大会